

東京ケーブルネットワーク株式会社
2024 年度放送番組審議委員会議事録

開催日時 2025年3月27日
(14:00～16:00)

開催場所 東京ケーブルネットワーク本社会議室

放送番組審議委員

委員 … (文京区) 野堀 勝明委員、小松 一世委員
(荒川区) 木村 光範委員、南谷 素子委員
(千代田区) 齋藤 光治委員
(委員総数：5人)

当日出席委員 … 野堀 勝明委員
木村 光範委員
南谷 素子委員
齋藤 光治委員
(出席委員数：4人)

当日欠席委員 … 小松 一世委員 ※ご本人の希望により今回を以て退任されました。
(欠席委員数：1人)

東京ケーブルネットワーク株式会社

代表取締役社長執行役員	大坪 龍太
取締役常務執行役員	綾小路 有政
コミュニティ事業部部長	富平 昌宏
コミュニティ事業部次長	中原 伸介
司会・議事進行	土岐 充
事務局（書記）	岡崎 真由美

1. 委員会開催の挨拶、出席者紹介、審議委員紹介、配布資料説明

2. 番組編成・制作について（中原）

2024 年度に制作した番組を視聴しながら番組に関する説明及び報告をおこなった。

主な報告内容

- ①「あらぶんちょ散歩」は、「あらぶんちょ通信」というガイド誌と連動して実際にその街を散歩する番組です。「夜からあらぶんちょ」は、昼とは違う夜の街の顔を連動企画で制作しセットで行っております。
- ②「イイコト!SDGs!!」は、身近な区内の SDGs 活動を紹介し、国連の SDG メディアコンパクトに加盟しているメディアの一員として、SDGs に貢献しています。
- ③「東京ユナイテッド FC コミュニティ」は、文京区を中心に活動している同チームが関東サッカーリーグに所属しており、Jリーグを目指す道のりを応援しています。
- ④「あらぶんちょぷらす」は、地域の様々な話題を生中継など含めて放送しました。中継は簡易的なシステムで小人数の体制で実施しています。高校野球のチーム紹介や、荒川区のバリアフリー演劇なども放送しました。

3. 各委員からのご意見・ご要望

- | | |
|--------|--|
| 齋藤委員 | 視聴できる時間帯の関係でテレビを見る機会が少なくなり、YouTube での視聴が増えている。多くの人がゴールデンタイムに民放ではなく TCN を選ぶようになってほしい。
小学生のアナウンサー体験で指導した子が「わんぱく相撲」のナレーションの担当をするのはとても良いことだと思います。 |
| [回答]土岐 | 優秀な子どもたちが意欲を持って参加し、番組に関わってもらいました。子供たちの成長の動機付けになったり、放送人として大成したりと種まきが出来ればいいかなと考えています。 |
| 齋藤委員 | 大人子供に拘らず常時そういう教室を行ってみてはいかがでしょうか。消防や警視庁、救急など指導されたら聞き取りやすくなるのではないのでしょうか。 |
| 野堀委員 | 1 年ぶりに拝見しましたが、あらぶんちょに集約しているのでしょうか。以前にあった「神保町昭和歌謡」はいい番組でしたし、「いつも俺の隣の客はラーメンを美味しそうに食べる女子ばかりだ」などエッジのきいた番組があった。あらぶんちょに集約されると、色が違う番組などを制作しづらくなるのでは。 |
| 木村委員 | アナウンサー体験、非常に良いと思います。コミュニティチャンネルを観ようと思うのは知っている人、知っている場所、応援しているチームの存在が大きい。たとえば、わんぱく相撲や例大祭は、こうした要素が強く出ています。したがって、新年度の制作方針としてお祭りなどに関連する内容が含まれていることは非常に良いと感じています。 |

今後はもう少し、視聴者とコミュニケーションが取れるもの、セミプロの配信者と連携し、参加型のものが出てくると自分が係るものとなり、視聴したいと思うことがあるのではないのでしょうか。放送という特性上投げ銭というシステムは難しいかもしれませんが、コメントやチャットなど通信と放送の融合、その特性を生かした番組作りを目指していただきたいと思います。

南谷委員

荒川区で子ども食堂を運営し、ランドセルのリサイクル活動も行っています。この活動を通じて、番組に出演させていただきました。SDGs に関してこういう番組ができたのは、同様の活動を行っている人々にとって非常に価値があると感じています。少年野球もわんぱく相撲も、子供たちが頑張っている姿をみるのはとても楽しいです。

現在、不登校の子供たちが増加しており、荒川区では「子供の居場所づくり」が行われていますが、引きこもりの子供たちには具体的な職業情報や学べる場所の提供が不足しています。そこで、CATV を通じて引きこもりの子供たちや障がいのある子供たちに向け、職業や学習機会の紹介をとりあげるといえるのはいかがでしょうか。たとえテーマが暗くなりがちでも、番組が子供たちとつながり、将来に向けたサポートや夢を与える内容が増えることを期待しています。

〔回答〕 大坪

障がいのある人が公園に行こうとすると、車椅子が通れなかったり、遊べる設備がなかったりする問題が存在します。しかし、地元の子供たちと障がいのある子供を持つお母さんたちが、その実情を共有する活動を行った結果、障がいのある子たちも楽しめる公園が伊勢市に完成しました。また、完成時には伊勢市長へのインタビューを含む 15 分の番組「みんなで遊べるみんなが育てる公園づくり」を制作しました。難しいテーマでも映像を工夫することで明るい気持ちに繋がり、社会的な意義を持つと考えています。

野堀委員

NP0 法人などの活動が数多く存在するが、それらが商業資本として成り立つのは難しいため、地域メディアが丁寧に取り扱うことが重要。番組をゼロから作るのは大変なので、細く長く続けることによって蓄積されていく。

配信の部分は、性別、年齢などその分析を丁寧にやるとより伝わりやすい。違いを分かったうえで、アクションをかけるといいのではないかな。

区の広報番組にはもっと改善の余地があるのではないかな。広報番組としては日本で一番になることを期待する。

また、編成の仕方にも一工夫が必要。深夜帯など、他のチャンネルがつまらないときに見てしまうような工夫をしてほしい。

木村委員

コミュニティチャンネルは地域課題の解決がもうひとつの役割。ひとつの番組がきっかけで世の中が変わるということがある。子育ての居場所支援や、青少年向けのことに関わっていますが、新しいことにチャレンジしていることを商業ベースではなく、こういう世の中があると紹介していくことも重要な役割。地域の活動にご協力していただいていますので、引き続きその情報を得るネットワークのようなことに顔を出していただきたいと思います。

南谷委員 番組に出演した際、仲間からケーブルテレビが見られないと指摘され、YouTube で視聴してもらうことにしました。ケーブルテレビで放送されることに對して凄いと驚いてもらえるようになると良いと感じています。人によって異なるものの、必ず自分にとって得られるものがある番組が存在し、そこで得られる知識や情報は自身に有益になる、子どもでも番組から得るものは大きなものがあると思います。

4. 閉会の挨拶（大坪）

多くの方々から「本当に見たいからケーブルテレビに加入しよう」と言われるようなサービスを目指していく、そのためには地域とのアライアンスが重要であり、映像を通じたサービス提供が求められています。未来創造部などでは、避難所の映像マニュアルなども作成しております。ケーブルテレビの原点に戻り、地域のために何ができるのか、凄い番組ではなくずっと続けていける会社になっていけたらと考えています。

来年の審議委員ではあの番組はよかったと言っていたけるような番組を制作していければと思っております。

貴重なご意見、ありがとうございました。引き続き番組をご覧いただき、期の途中でも構いませんのでご意見をいただければと思います。本日はお忙しい中、ありがとうございました。